

マネジメント体制の確立

マネジメント体制の確立 推進体制の構築

八尾市都市基盤施設維持管理推進会議を設置し、本方針に基づく計画的な維持管理・更新等について継続的な検討を実施している。また、大学機関による技術的なアドバイスや職員研修、各種団体が主催する研修に積極的に参加するなど、職員の技術力、道路保全意識の向上のための取り組みを進めている。

道路の老朽化対策の本格実施に関する提言 (H26.4.14)

中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故（H24.12）を契機として、インフラの老朽化問題が社会的に注目されるようになる。H26.4には、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言（最後の警告）」が示され、本格的にメンテナンスサイクルの取り組みが各自治体に求められることになる。



大阪府道路メンテナンス会議 (第1回 H26.5.23)

大阪府内における道路施設の高齢化や老朽化による不具合への対応、施設の大量更新期への備え等、道路の維持管理を効率的・効果的に行うため、全ての道路管理者が相互に連絡・調整を行うことにより、円滑な道路の維持管理の促進を図ることを目的に設立される。

大阪府中河内地域維持管理連携 プラットフォーム（設立 H27.3.24）

地域の特性等が活かせる土木事務所単位で、維持管理に関する情報及びノウハウの共有や研修等を通じて、技術連携や人材育成等に取り組むことで、将来にわたり良好に都市基盤施設を維持管理し、府民の安全・安心を確保していくことを目的に設立。

大阪府 八尾土木事務所

地域のインフラ補修等のアドバイザーとして、知見・技術等の助言を行う事を目的として、包括連携協定を締結。



包括連携協定
(H27.2.19)

近畿大学理工学部 社会環境工学科

官学連携した資源（予算・人材・技術）の活用を図っています。



連携協定
(H28.3.18)

→ 包括連携協定
(H30.6.1)

八尾市 都市整備部

八尾市都市基盤施設維持管理推進会議 (第1回 H29.6.30)

八尾市都市基盤施設維持管理基本方針（H29.3）に基づく具体的な取り組みを進めていくための推進会議として発足。

人的・知的交流を通じ、都市基盤施設の維持管理等に関する予算や人員、技術的課題について取り組むことを目的に、連携協定を締結。

都市基盤施設を一元的に管理する都市整備部の庁内推進体制により、計画的な維持管理・更新等について継続的な検討を進めています。



関係機関（国・府）、大学機関と連携した取り組みを進めています。

マネジメント体制の確立 市民、大学、地域社会との協働

官学連携した資源（予算、人材、技術）の活用を図り、現地視察や技術検討会議、八尾市職員を対象とした「八尾市管理対象橋梁の維持管理に関する研修会」を通じ、職員の技術力、道路保全意識の向上を図り、効率的・効果的な維持管理に取り組んでいる。

橋梁の現地視察、技術検討会議（H28.5.26）

橋梁の点検・診断・修繕を行うにあたり課題となっている小規模橋梁の維持管理の進め方について、現地視察、検討会議を実施。



橋梁の維持管理に関する研修会【第3回】（H31.1.8）

「中小規模橋梁の維持管理ハンドブック」を用いた点検・診断のポイントに関する講義を踏まえ、職員によるグループディスカッションを実施。



小規模橋梁の職員による定期点検を目的に実施しました。

橋梁の維持管理に関する研修会【第1回】（H28.9.5）

橋梁の点検・診断・補修補強についての座学を踏まえ、現地で点検機材を用いた点検・調査手法に関する講義を実施。



橋梁の維持管理に関する研修会【第4回】（R2.1.15）

「中小規模橋梁の維持管理ハンドブック」を用いた優先順位の決定手法に関する講義を踏まえ、職員によるグループディスカッションを実施。



八尾市橋梁定期点検マニュアル（素案）を用いた定期点検・診断を目的にした研修会を実施しました。

橋梁の維持管理に関する研修会【第2回】（H29.12.19）

「中小規模橋梁の維持管理ハンドブック」を用いた点検・調査のポイントに関する講義を踏まえ、職員によるグループディスカッションを実施。



職員による日常点検を目的に実施しました。

橋梁の維持管理に関する研修会【第5回】（R3.3.11）

「八尾市橋梁長寿命化修繕計画の見直し」に関する講義を職員により実施。（社会情勢を鑑み、規模を縮小した上で実施）

限られた財源と人材のなか、実施可能な維持管理の仕組みづくり、実施体制の構築に取り組んでいます。